

平成28年度決算における財政健全化比率について

平成19年度から、公表が義務づけられました「地方公共団体の財政の健全化に関する法律(財政健全化法)」により本村の財政健全化比率を公表します。

下條村の平成28年度決算に基づく「健全化判断比率」「資金不足比率」等は以下のとおりで、一般会計、特別会計共に黒字となり、全国的にもトップクラスの健全な財政運営が行われています。(単位:%)

Table with 6 columns: 区分, 実質赤字比率, 連結実質赤字比率, 実質公債費比率, 将来負担比率, 資金不足比率. Row 1: 平成28年度決算健全化判断比率, -, -, ▲6.1, -, -

※実質赤字、連結実質赤字は赤字でないため「-」で表示しています。
※将来負担比率は、借入金や将来負担する実質的な負債がないため「-」で表示しています。
※資金不足比率は、公営企業(水道特別会計など)の資金の不足度を示すもので黒字のため「-」で表示しています。

特別会計の決算

Table with 3 columns: 会計区分, 歳入(対前年比), 歳出(対前年比). Rows: 国民健康保険, 後期高齢, 介護保険, 村営水道, 計

主な村づくり事業

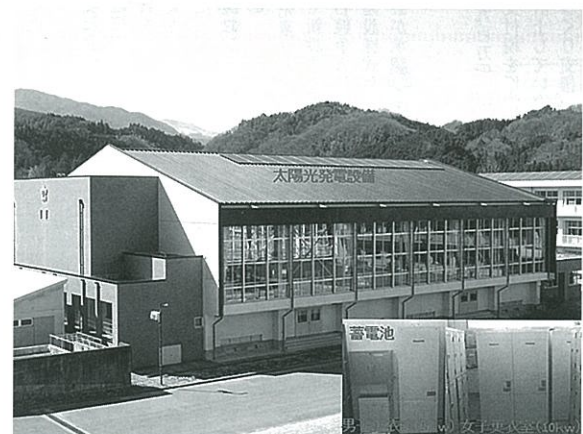
【資材支給事業 428万円】

本年度も42箇所を実施され、村内各地の道路、水路などの整備を行って頂きました。村民の皆さまのご協力により、一層住みよい村づくりが進んでおります。



【環境にやさしい公共施設等整備事業 2,392万円(内基金2,322万円)】

長野県グリーンニューディール基金を活用し、中学校体育館(災害時避難所施設)へ太陽光発電設備15Kwと蓄電池15Kwを整備しました。この整備によって非常時の電源確保が行える避難所設備となりました。



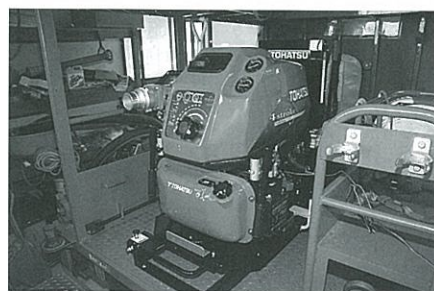
【下條村ホームページの更新事業 320万円】

平成21年度にリニューアルした、ホームページの更新を行いました。SNSへの情報共有も可能となり、きめ細かな情報発信に努めてまいります。



【小型動力ポンプ導入事業 1,168万円(起債1,100万円)】

全分団に同型の小型動力ポンプを導入したことにより、性能、操作方法が統一され、迅速な消火活動が期待されます。



平成28年度決算のあらまし

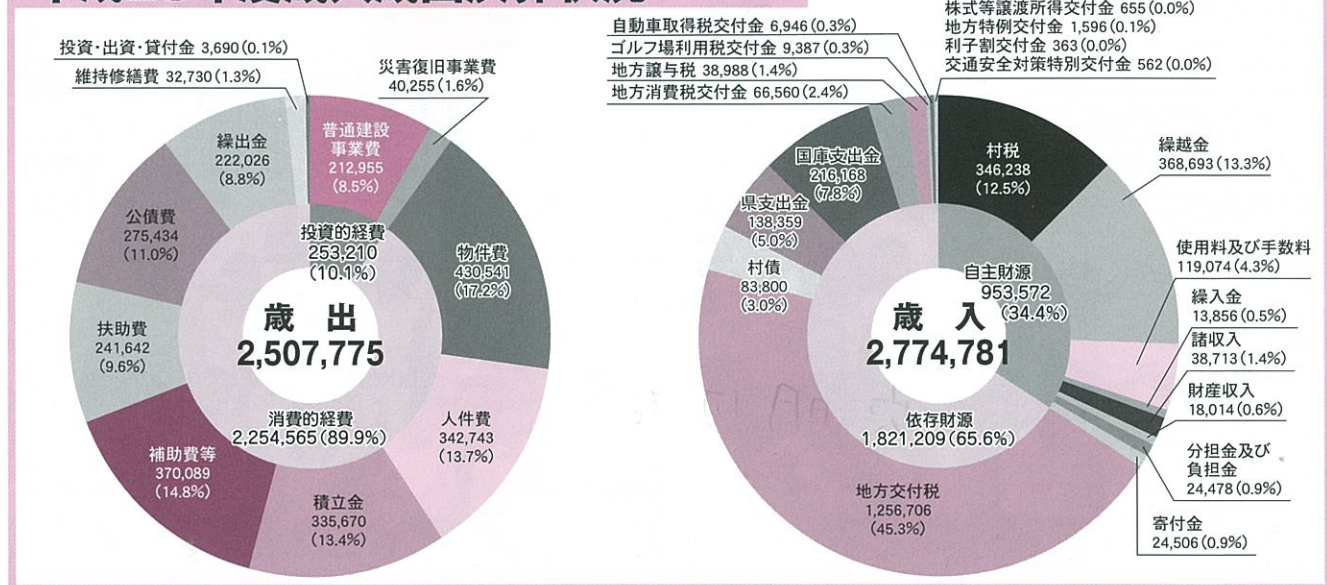
◆◆◆ 28年度も健全な財政運営に努めました ◆◆◆

平成28年度一般会計をはじめとする各会計の歳入歳出決算が9月の定例議会で認定されました。一般会計では歳入27億7,478万円、歳出が25億7,778万円を差し引いた形式収支は2億6,700万円の黒字となりました。また翌年度に繰り越すべき財源1億2,444万円を控除した実質収支2億5,456万円のうち1億5,000万円を繰上償還財源、1億456万円を繰越金として翌年度へ繰り越しました。

※1 また、財政運営の健全度を示す指標「実質公債費比率」は、▲6.1%と昨年数値より0.5%上がりましたが、全国2位(1,741市区町村で)となり健全な財政運営を推進しています。

※1 自治体の財政健全具合を示す指標で、公営企業会計も含む、一般財源に占める借入れ返済額の割合を示すもので、数値が高くなるほど財政を圧迫しています。(単位:千円%)

平成28年度歳入歳出決算状況 (単位:千円)



村民ひとり当りに使われたお金 646,834円(目的別歳出)

Grid of 12 categories: 議会費 8,386円, 農林水産業費 22,014円, 教育費 77,874円, 総務費 153,446円, 商工費 23,443円, 災害復旧費 10,383円, 民生費 181,168円, 土木費 26,074円, 公債費 71,043円, 衛生費 44,087円, 消防費 28,916円, 人口 3,877人

Table with 4 columns: 村民ひとり当りの納税額 89,306円(法人除く) 主な内訳, 村民税(個人分) 34,635円, 固定資産税(個人分) 19,722円, 軽自動車税 3,885円, たばこ税 4,617円